

こんなときは…

● キャリジを動かすのが重いとき…

- ➡➡➡ ① 毛糸が太かったり、からんでいたり、むすび目があると重くなります。(3ページの“アミーナで使える毛糸のしゅるい”のところを見てください。)
- ➡➡➡ ② 太めの毛糸の場合、テンションの②をはずしてください。(6ページを見てください。)

● ひらあみのとき、キャリジ切りかえつまみが【★：ひらあみ】にもどらない…

- ➡➡➡ ① 毛糸をほぐしましょう。(6ページ)
- ➡➡➡ ② 太めの毛糸の場合【★：ひらあみ】にもどらないことがあります。細めの毛糸にかえましょう。(3ページ)

● キャリジが動かないとき…

- ➡➡➡ ① キャリジを途中ででもどすと動かなくなることがあります。(17ページを見てください。)
- ➡➡➡ ② キャリジの裏に毛糸くずやゴミなどがついてないか確認して、とりのぞいてください。
- ➡➡➡ ③ 毛糸がたるんでいると糸がからんでキャリジが動かなくなることがあります。毛糸のたるみをなくすように注意しましょう。(8ページ②)

● あみ目の同じところが何回もはずれるとき…

- ➡➡➡ ① おもりを両はしにかけてください。
- ➡➡➡ ② 毛糸をとりかえた後、毛糸のたるみをなおしてください。(14ページ③)  
(たるんでいるとはしの目がはずれることがあります。)

● キャリジがセットできない…

- ➡➡➡ 針ローラーを ■ やすむ にそろえてください。(4ページ)

● イラストシートが折れてしまった…

- ➡➡➡ A4のコピー用紙に倍率100%でカラーコピーしてください。

● イラストシートがうまく送れない…

- ➡➡➡ 紙がまがったり、折れているとうまく送れないことがあります。シートダイヤルで調整するか、コピーをとってください。

● 上手にあむコツは… **あむかわアミーナ公式ホームページで!**

発売元：株式会社 タカラトミー ©TOMY

タカラトミーでは「子どもたちに安全で楽しいおもちゃと夢を」を第一に考えております。そのため、常に製品に対し研究、改良を行っており、お買い上げ時期によって同一製品の中にも多少異なるものや、パッケージの写真やイラストなどと異なる場合がございますがご了承ください。製品につきましては、万全の注意を払って製造に当たっておりますが、万一お気付きの点がございましたら右記までご連絡ください。

タカラトミー お客様相談室 おかけ間違いのないようご注意ください

〒124-8511 東京都葛飾区立石 7-9-10    
 0570-041031 電話受付時間 月曜日～金曜日(祝日・祭日を除く)10～17時  
 PHS、IP電話等からのお問合せは 03-5650-1031  
<http://www.takaratomy.co.jp/support/index.html>

● たのしいタカラトミーの情報はインターネットで<http://www.takaratomy.co.jp>

↓ 毛糸の長さを測るときに便利な目盛りだよ。



TAKARA TOMY®

あむかわアミーナ

Amukawa Amina

取り扱い説明書



対象年齢6才以上  
保護者の方とお読みください。  
乾電池は使用しません。  
NO BATTERIES REQUIRED.

この度はタカラトミーの「あむかわアミーナ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に、この取り扱い説明書をよくお読みください。また、読み終わった後は必ず保管しておいてください。

※ 画像はイメージです。実際の商品とは異なる場合があります。

**警告 (けいこく)**  
保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 毛糸針、タビ、本体針やおもりのくしはばは、機能上、尖っていますので危険です。
- 毛糸は火に近づけないでください。

**注意 (ちゅうい)**

- 作ったマフラーや小物を首にきつく巻いたり、ふざけたり、乱暴に遊ばないでください。窒息などの危険があります。
- 毛糸を首にかけてふざけたり、乱暴に遊ばないでください。窒息の危険があります。
- 毛糸による事故の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 毛糸は、指などに巻き付けたりしないでください。血がかよわなくなり危険です。
- 可動部の隙間には指などを入れないでください。はさまれてケガをする恐れがあります。
- 思わぬ事故の恐れがありますので、ご使用後は3才未満のお子様の手が届かないところに保管してください。
- プラスチックの袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- ハサミを使用する際には、お取り扱いにご注意ください。

- ＜お願い＞
- ご使用前に、「取り扱い説明書」(本書)をよくお読みください。また読み終わった後は必ず保管しておいてください。
  - 性質上、毛が抜けやすいので誤って飲み込まないように注意してください。
  - ハサミを使う時は十分注意してください。
  - プラスチック袋は包装材ですので開封後すぐに捨ててください。

## もくじ

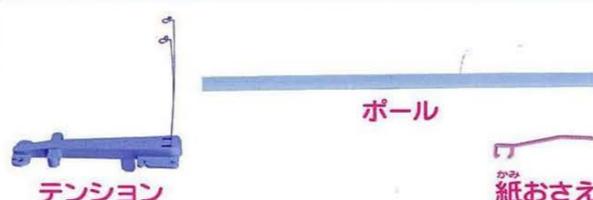
- はいつているもの..... 1
- 組み立てかたと部品の名前..... 2
- アミーナの正しい置きかた..... 3
- アミーナでつかえる毛糸のしゅるい..... 3
- 針の位置をおぼえよう!..... 4
- キャリジを動かしてみよう..... 5
- キャリジがうまく動かせようようになったら、あんでみましょう。
- 毛糸をほぐしましょう..... 6
- 毛糸をテンションと糸口にとおします..... 6
- あみはじめの目をつくりましょう..... 7
- 毛糸のかけかた..... 7
- あみはじめましょう『ひらあみのあみかた』..... 8
- 毛糸がなくなりそうになったら/毛糸をかえたいときは..... 9
- あみ目のおわりのしまつ..... 10
- イラストあみのあみかた
- じゅんぴ..... 11
- イラストシートのセットのしかた..... 12
- イラストあみをします①②③..... 13・14・15
- イラストあみの毛糸のとりかえかた..... 14
- しましまマフラーとねこポーチのつくりかた..... 16
- こんなときは..... 17・18・19

## はいつているもの

※ふぞくひんはなくさないようにしましょう。



本体一式  
※本体・L・Rパーツを取り付けてください。



テンション  
紙おさえ



おもり (2個)



毛糸針 (1本)



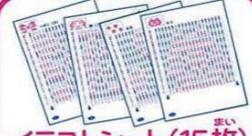
毛糸 (2玉)



タッピ・うつし (1本)



シール (1枚)  
※レールなど可動部には貼らないでください。



イラストシート (15枚)  
※折れ曲がらないように保管しましょう。

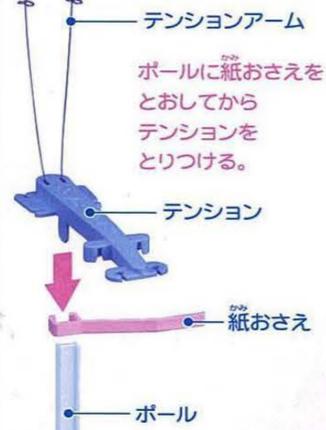


取り扱い説明書(本書)

## 組み立てかたと部品の名前

### それぞれの部品の名前

#### テンションのとりつけかた



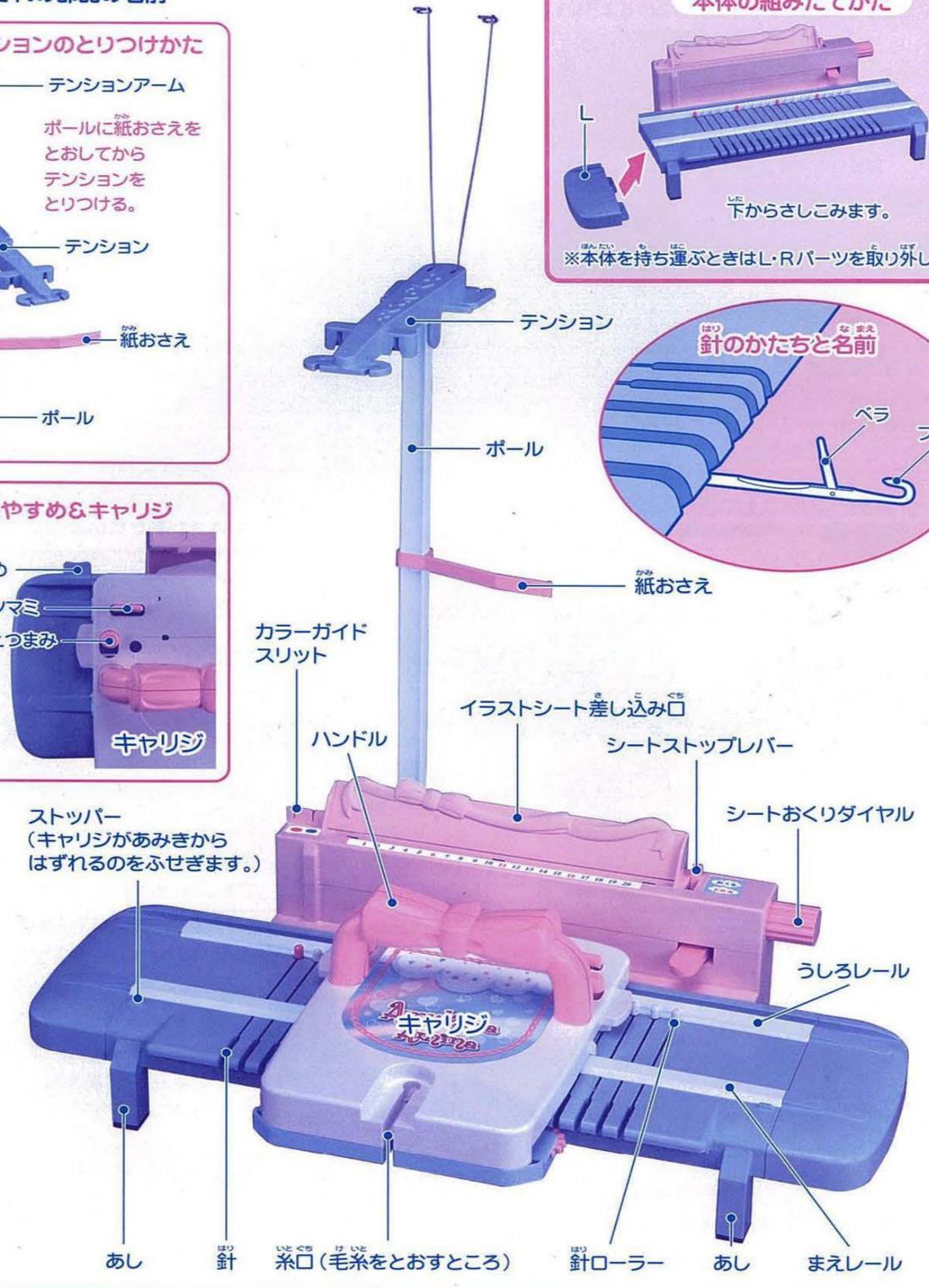
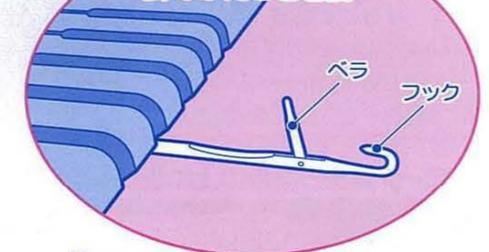
#### 糸やすめ&キャリジ



### 本体の組み立てかた



### 針のかたちと名前

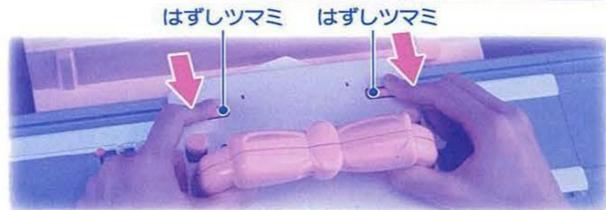


●キャリジのとりつけかた

4ページの「針の位置をおぼえよう!」を見てから、針ローラーを ■ やすむ にそろえて、本体の手前にキャリジをはさみこむようにセットし、ハンドルを持ちながら両手ではずしツマミを手前に引き、本体に押しつけるようにします。

キャリジの  
でっぱりと  
まえレールを  
合わせる。

キャリジ



●キャリジのはずしかた

キャリジのはずしツマミを手前に引き、上に持ち上げます。



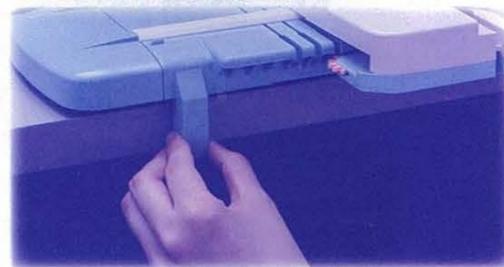
※針ローラーがすべて ■ やすむ になっていることを確認してください。

アミーナの正しい置きかた

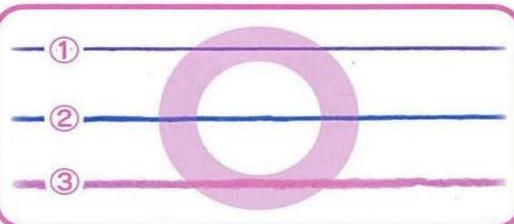
●アミーナはテーブルの上に正しく置いてつかいましょう。



あむときはキャリジを持つ反対の手であしを持って本体が動かないようにします。



アミーナでつかえる毛糸のしゅるい



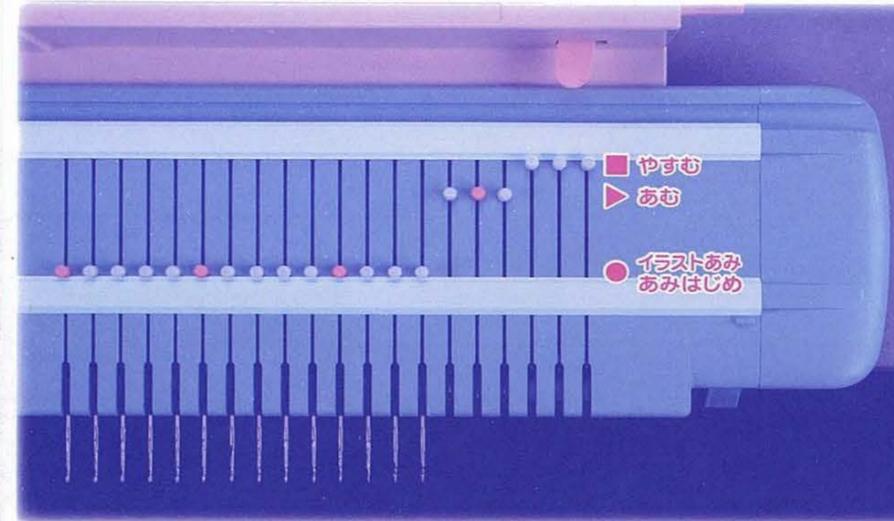
- ① 中細毛糸 (棒針2~4号) ... かるくあめますが、目があらかくなるのでイラストあみには向きません。
- ② 合太毛糸 (棒針4~6号) ... 目がいちばんきれいにあめます。ふぞくの毛糸に近い太さです。
- ③ 並太毛糸 (棒針6~7号) ... あめるもの(細めの並太、毛が30%以上入っているもの)と、あめないもの(太めの並太、アクリル100%のもの)があります。

こんな毛糸は、あめません!

※モコモコの毛糸や、毛足の長い毛糸、ふとい毛糸はあめません。  
※毛糸以外の糸もあめません。

針の位置をおぼえよう!

●本体の両はしには、3つの位置にしろしがあります。この3つの働きを覚えて、針はいつもきちんとそろえましょう。※針を動かす時は、必ず針ローラーを持ってください。



- やすむ  
この位置にそろえた針は、キャリジを動かしてもあめません。
- ▶ あむ  
ひらあみの時に、キャリジを動かすと、あむことができる位置です。
- イラストあみ・あみはじめ  
あみはじめは、必ずこの位置に針ローラーを合わせます。また、イラストあみの時は、イラストシートに合わせてこの位置に針ローラーを出します。キャリジを動かすと針はあむ位置にそろいます。

●キャリジ切りかえつまみについて

ひらあみ



ひらあみの時は、左右のキャリジ切りかえつまみを両方とも ★:ひらあみ にします。

イラストあみ



イラストあみの時は、両方とも ♥:イラストあみ にします。



針のフックは、とがっていてあぶないですから、気をつけてください。  
あみおわたたら、針はかならず ■ やすむ の位置にもどしておきましょう。針がまがるとあめなくなります。  
※針を動かす時は、必ず針ローラーを持ってください。

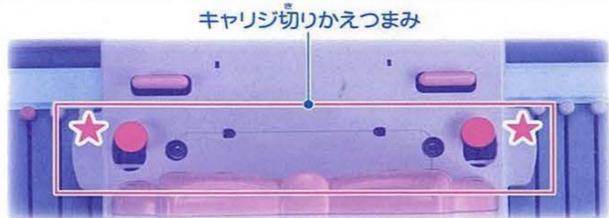
## キャリジを動かしてみよう

キャリジ切りかえつまみ：★



毛糸をあむ前に、キャリジを動かす練習をします。キャリジの持ち方は下の写真を参考にしましょう。

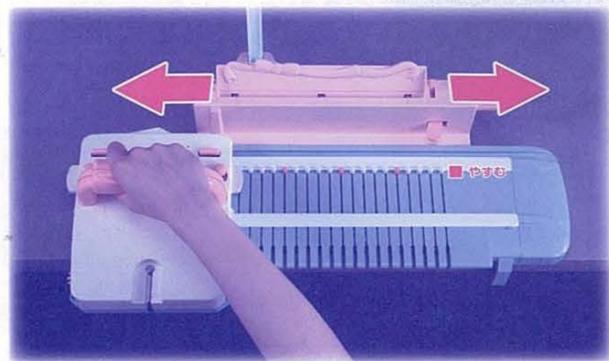
●キャリジ切りかえつまみを★：ひらあみにします。



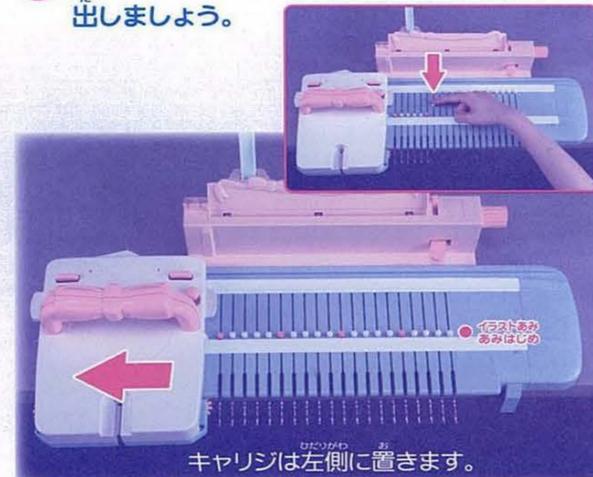
### 気をつけて

針を出しているときは、フックの先に気をつけてね。針がまがるとあめなくなります。

1 ぜんぶの針ローラーを■やすむにそろえてキャリジをはしからはしまで何回か動かしましょう。



2 針ローラーをすべて●イラストあみ・あみはじめに出しましょう。



キャリジは左側に置きます。

3 キャリジを1回動かすと…

※途中で止めずにキャリジ切りかえつまみが★に戻るまで動かしてください。



※針は▶あむにそろいます。

4 つづけて何回かキャリジを動かしてみましょう。



※▶あむにそろった針をキャリジがとおりすぎると、「カチッ」という音が出て、切りかえつまみが★：ひらあみに戻ります。この音を確認してからキャリジを戻しましょう。  
※▶あむに出した針のとちゅうで引きかえすと、あめません。  
※左から右へ動かす時は左手、右から左に動かす時は右手でキャリジを持ちます。

## キャリジがうまく動かせるようになったら、あんでみましょう。

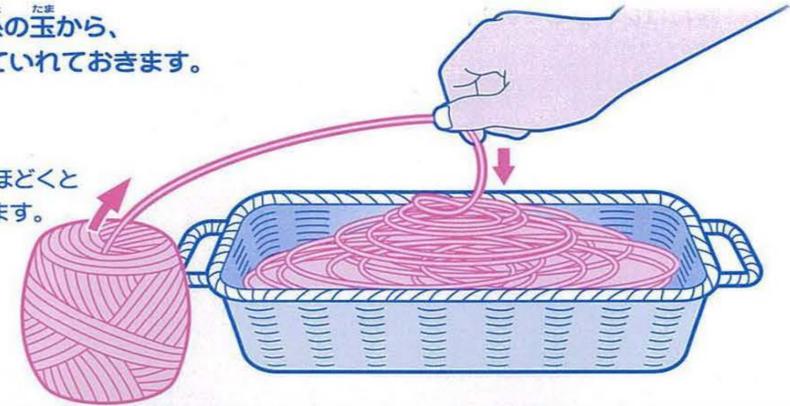
### 毛糸をほぐしましょう

※れんしゅうは、おうちにある毛糸を使いましょう。(3ページ「アミーナでつかえる毛糸のしゅるい」)

●毛糸は必ず図のように、毛糸の玉から、かごやあき箱などにほぐして置いておきます。

※毛糸は中がわからほどとじょうずにほぐします。

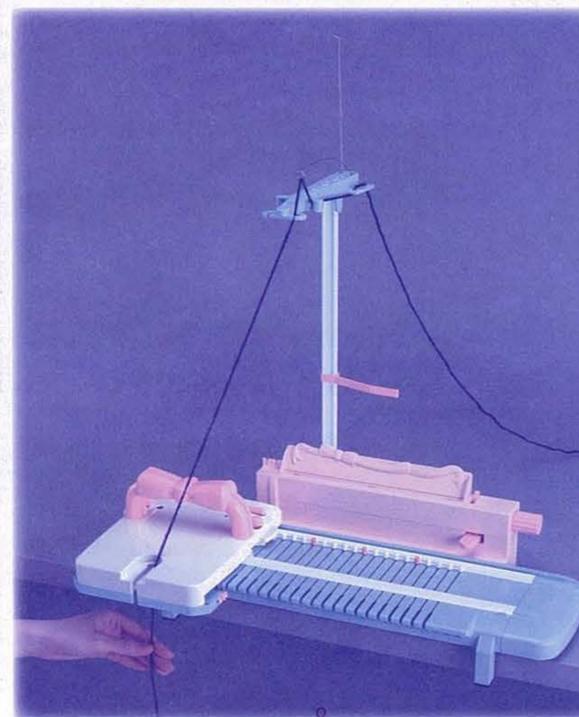
毛糸がからまないように気をつけてください。



### 毛糸をテンションと糸口にとおします

●毛糸をとおすまえに、キャリジを左はしにとりつけてください。

- 1 テンションに毛糸をとおします。
- 2 テンションにとおした毛糸を糸口にとおします。



※とおした毛糸はそのまま手で持ってください。

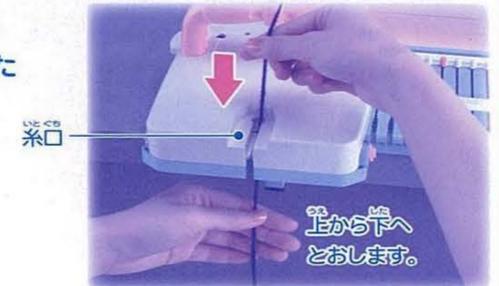
1 テンションへのおしかた

①～⑤の順にとおしてください。テンションにも番号がかいてあります。



※太めの毛糸であむにいくときは、②はとおさない。

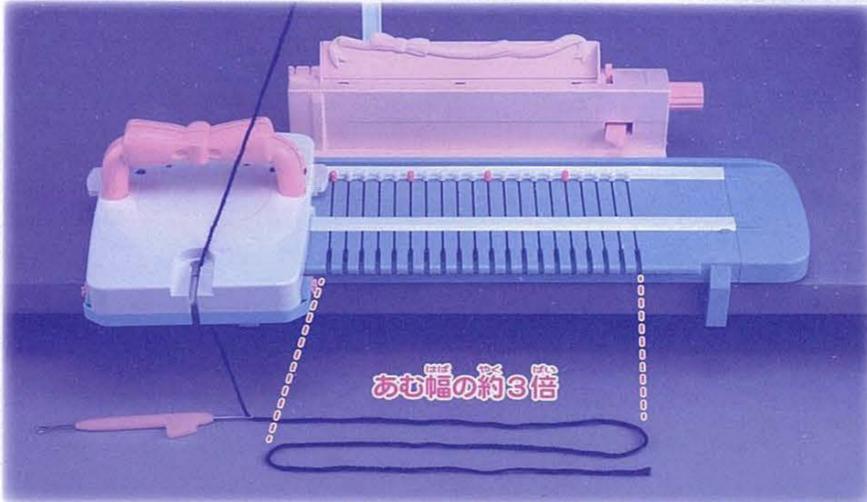
2 糸口へのおしかた



↑から下へとおします。

## あみはじめの目をつくりましょう

- あみはじめの目をつくりましょう。  
あみはじめの1段だけは、ふぞくの“タツピ・うつし”を使って針に毛糸をかけます。



あむ幅の約3倍

- あむ幅の約3倍くらいの毛糸(約70cm)を糸口の下から引き出します。

うつしのおし方

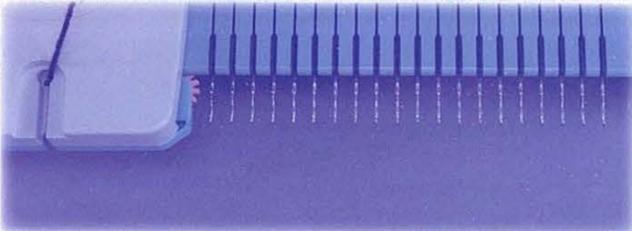


うつしのもち方

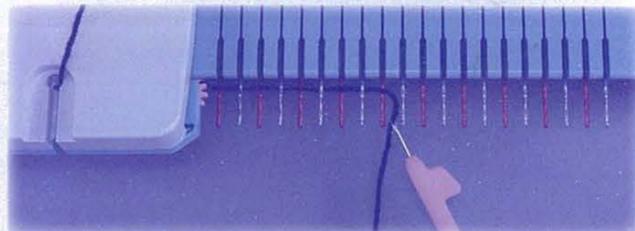


## 毛糸のかけかた

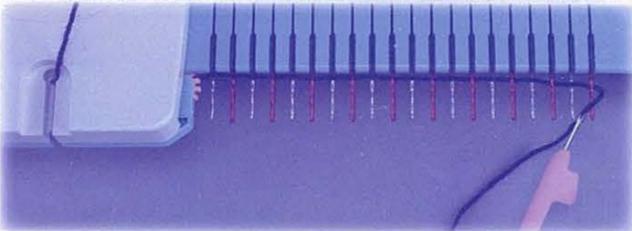
- 1 うつしで目をつくります。うつしは手に持ったまま1本目の針の上からかけていきます。



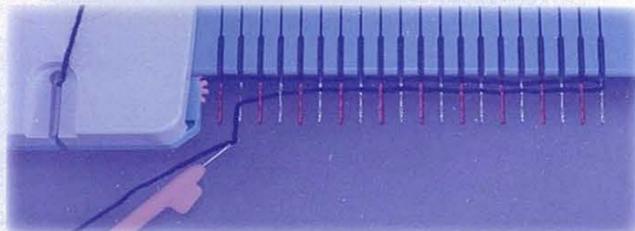
- 1 ●イラストあみ・あみはじめの位置に針を出します。(針ローラーを持って動かしてください。)



- 2 うつしを持って上下上の順に毛糸をかけます。



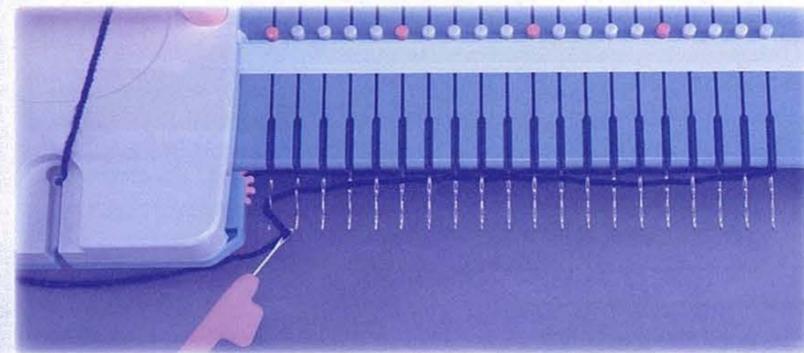
- 3 右はしまでいったら上下上の順に毛糸をかけます。



- 4 互い違いになっていることを確認してください。

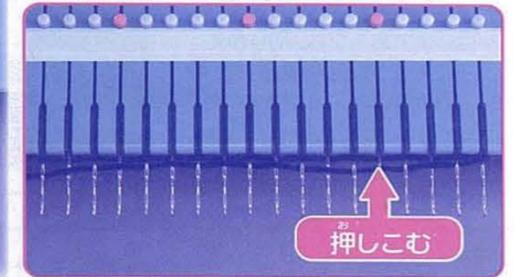
※毛糸はなるべく針の奥の方にかけること。

- 2 左はしまでもどつたら、はしの針にくるりと、もう1回巻きます。



これであみはじめの目ができました。

毛糸はなるべく奥の方にかけること。出ているところは手で押しこむ。



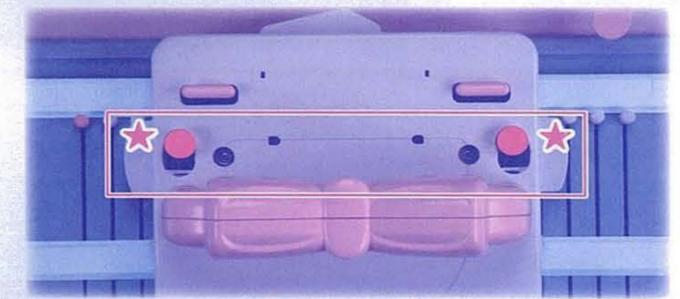
押しこむ

## あみはじめましょう『ひらあみのあみかた』

キャラジ切りかえつまみ:★



- 1 キャラジ切りかえつまみを左右両方とも★:ひらあみにしましょう。



- 2 キャラジを動かす前に右図のように毛糸をひっぱる毛糸のたるみをとります。

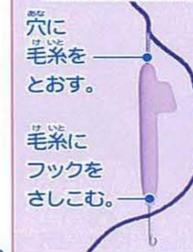


ここをひっぱる

- 3 糸はしに、うつし・タツピをつけたまま左から右に1回あみます。必ずストッパーにあたるまでキャラジを動かしてください。

※本体に押しつけるようにキャラジを動かすとあみやすいです。

うつしのおし方

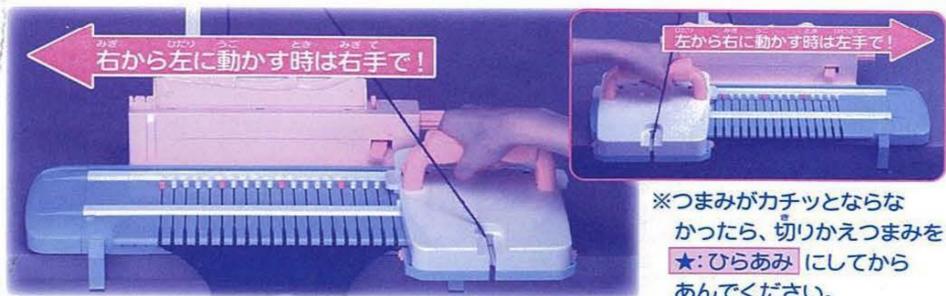


左から右に動かす時は左手で!

**3** キャリジをゆっくり、おなじはやさで動かしましょう。

(かた道が1段になります。)

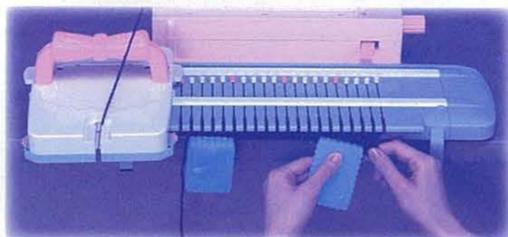
※はじまであんだら、切りかえつまみが★:ひらあみになったことを確認してください。  
(5ページ④“つづけて何回かキャリジを動かしてみましょう。”)



※つまみがカチツとならなかつたら、切りかえつまみを★:ひらあみにしてからあんでください。

**4** 10段あんだら、両はしにおもりをかけましょう。

あみすすんだら、おもりをときき上にかねおきましょう。もし、あんでいる毛糸がなくなりそうになったら、かわりの糸をつないであみつづけます。  
(下の“毛糸がなくなりそうになったら”を見てください。)



おもりのボタンを押しながら、くしぼを毛糸にさしてぶらさげます。

**5** あみおわりは必ずキャリジが左がわにきたところでおわってください。

※あみ物の特性上、あみ地の両はしは、内がわにまるまります。

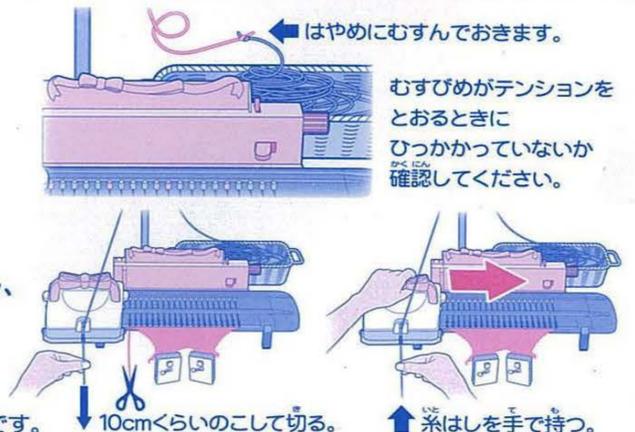


毛糸がなくなりそうになったら / 毛糸をかえたいときは

●はやめに、次の毛糸につないでおきましょう。毛糸がないままあんでしまうと、あみ目がいちどにぜんぶはずれてしまいますので、ちゅういしましょう。

●太い毛糸によっては、むすびめがつかえてしまうことがあります。キャリジが左がわにきたところで、なくなりそうな毛糸をテンション・キャリジからはずし、あたらしい毛糸をテンション・糸口にとおし、糸はしを手で持ちながらキャリジを右に動かします。

※糸はし同士を結ぶと、ほどこにくくなります。  
※16ページの「しましまマフラー」はこちらの毛糸のかえかたです。



むすびめがテンションをとおるときにひっかかっているか確認してください。

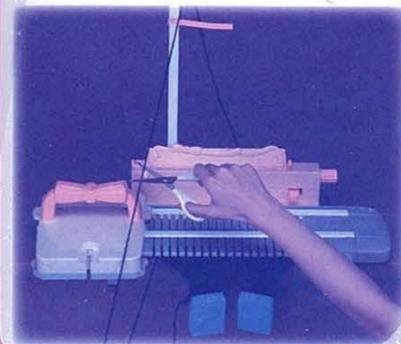
10cmくらいのこして切る。

糸はしを手で持つ。

あみ目のおわりのしまつ

巻きどめの練習です。あみ地をそのまま針からはずすとほどこけてしまいますので、ふぞくの毛糸針を使って“巻きどめ”という方法でとめます。

**1** 毛糸を70センチほどのこして切りましょう。

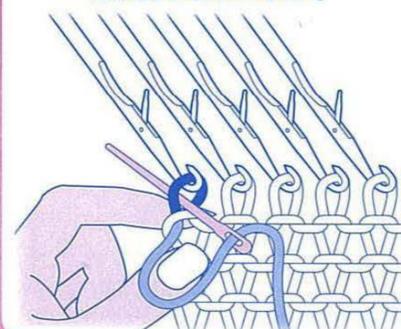


**2** ふぞくの毛糸針に①で切った毛糸のはしをとおします。

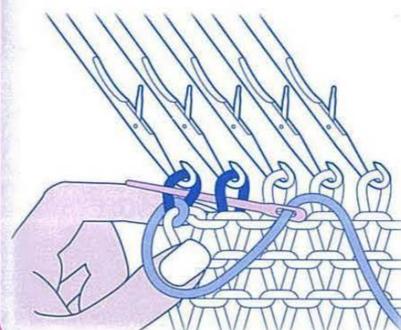
**3** 針ローラーをすべてイラストあみ・あみはじめに引き出します。

※あみ地が針からはずれないように注意してください。

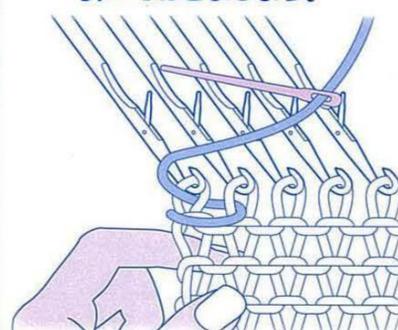
**4** あみ地を下に引き、左はしの1の目に毛糸針をとおします。



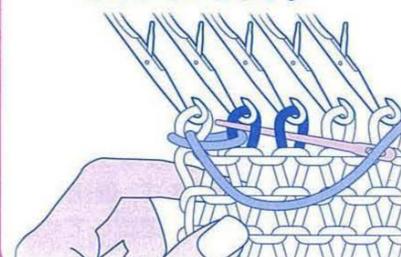
**5** 2の目と1の目をいっしょにとおします。



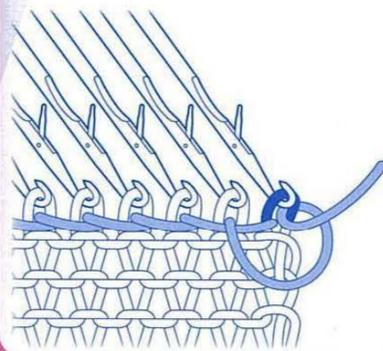
**6** 1の目は2回とおりましたね。とおした後、毛糸をきちんと引いておきましょう。



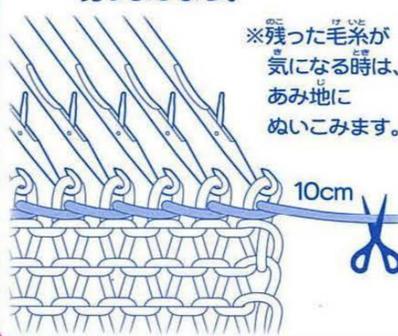
**7** 次に3の目と2の目にとおします。2の目も2回とおりました。このように毛糸を巻きながら2目ずつ、いっしょにとおしていきます。



**8** 最後の目も2回とおしてくださいね。



**9** とおし終わったら、毛糸はしを10cmほど残して切りましょう。



※残った毛糸が気になる時は、あみ地にぬいこみます。

**10** 針からあみ地をはずして、できあがり。



おもりをはずしてから、あみ地のはしを両手で持って、目に引っぱるようになると針からはずれます。

※針のフックに気をつけてはずしてください。

## イラストあみのあみかた

### じゅんび

キャリジ切りかえつまみ：★



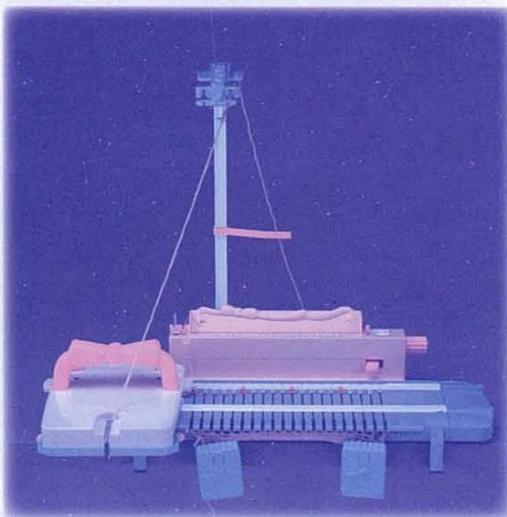
2色の毛糸を使います。

これからあむもの

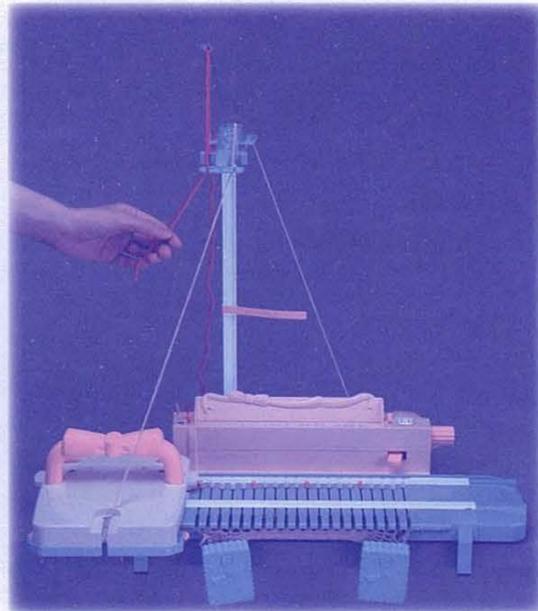


ひらあみをあみます。

- の毛糸をテンションアームの右がわにセットして、7～9ページと同じ方法でひらあみを10段以上あみます。両はじにおもりをかけます。最後はキャリジが左にきていることを確認してください。



- の毛糸をテンションアームの左がわにセットします。



## イラストシートのセットしかた

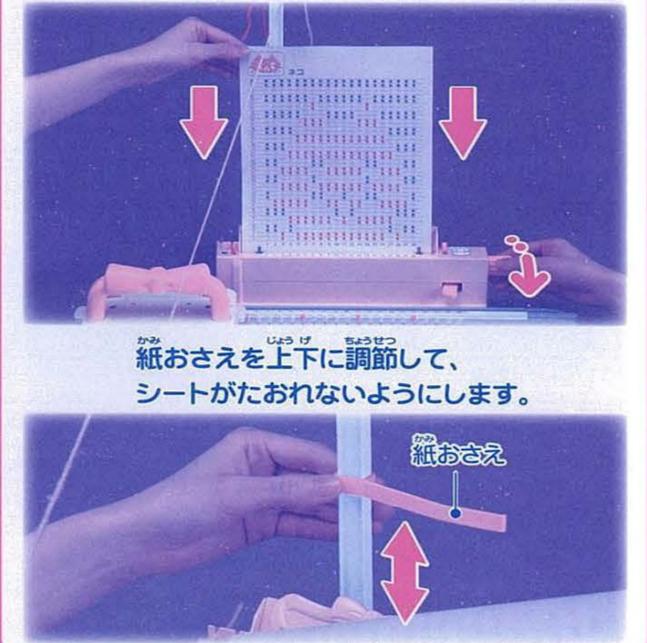
キャリジ切りかえつまみ：♡



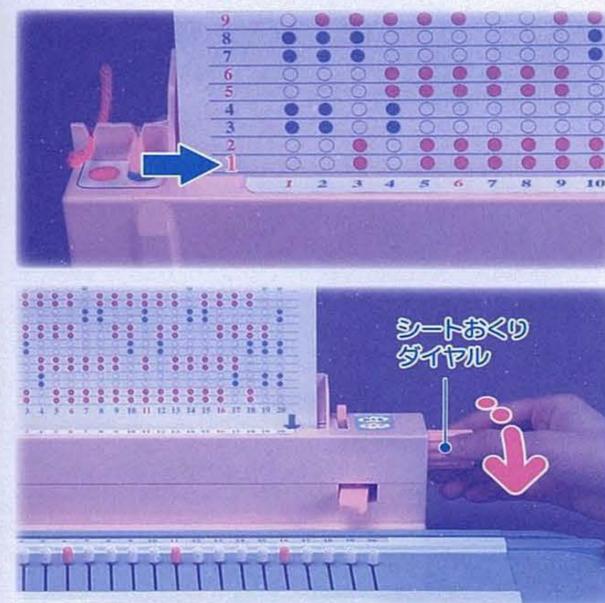
- シートストップレバーをおくるにします。



- イラストシートをイラストシート差し込み口にセットし、ダイヤルを矢印の方向に回しながら入れます。



- ダイヤルを矢印の方向にまわし、イラストシートの左はしの番号が1のところに合わせてます。



- 左右のキャリジ切りかえつまみを♡:イラストあみに合わせます。



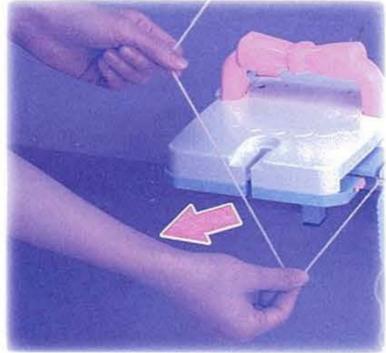
イラストあみをします①

キャリジ切りかえつまみ：♡

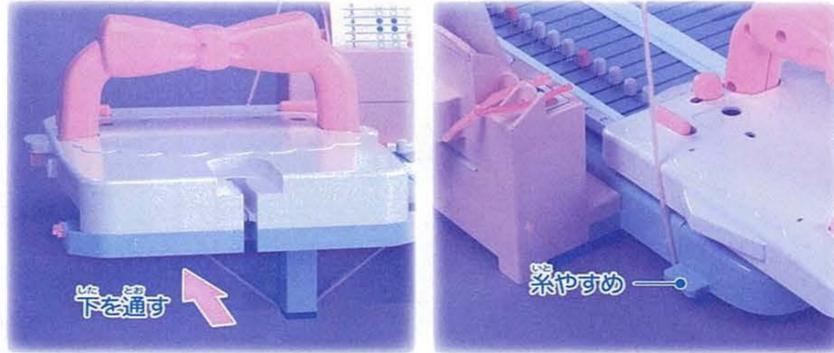


毛糸をもう一方の色にかえます。

- 1 ●の毛糸を切らずに  
キャリジからはずします。

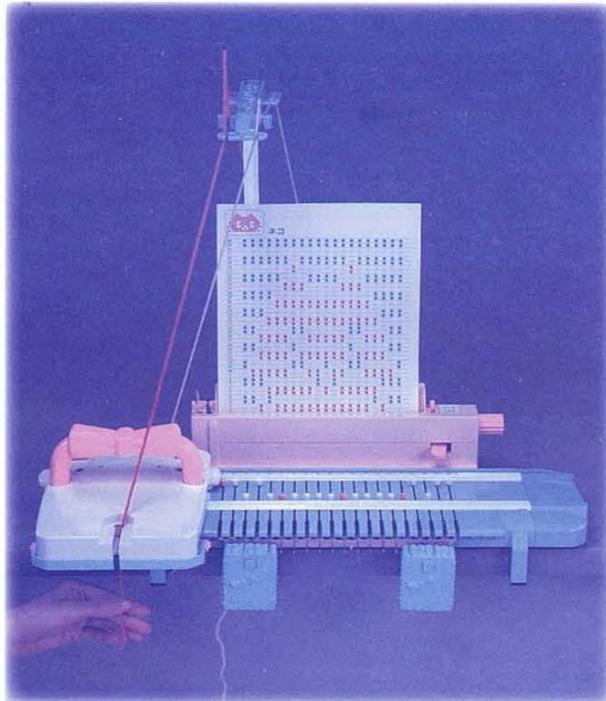


- 2 本体の下をとおして  
糸やすめにかけます。



イラストをあんでいきます。

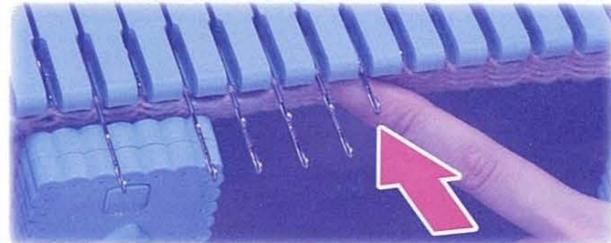
- 3 ●の毛糸を  
キャリジ糸口にセットします。



- 4 イラストシートの赤●がついている数字と  
同じ番号の針ローラーを●イラストあみ・あみはじめの  
位置まで出します。  
(針を出すときは、針ローラーをもってください。)



その時あみ地が針と一緒に前へずれないように  
指であみ地をおさえます。

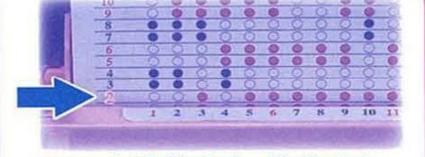
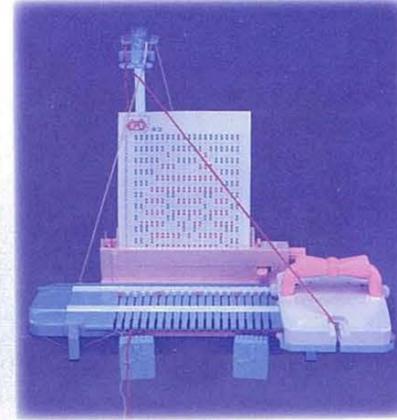
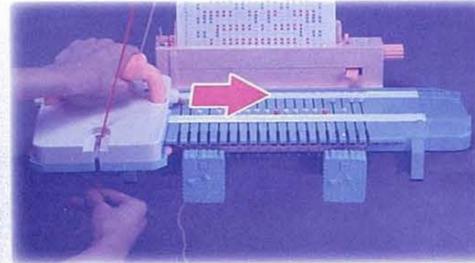


イラストあみをします②

キャリジ切りかえつまみ：♡



- 5 キャリジの糸口から出た●の毛糸を軽く  
下に引っ張りながら、キャリジをゆっくりと  
左から右に動かしてあみます。シートが  
おくられてシート左の数字が2になります。

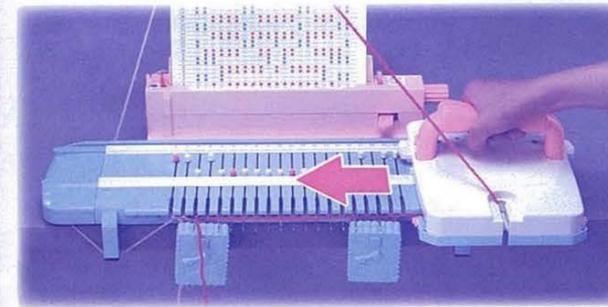


※シートがずれたら、ダイヤルを  
まわして調整してください。

ご注意

ひらあみの時は  
キャリジ切りかえつまみが  
カチッと音が出ますが、  
イラストあみの時はしません。

- 6 2段目もイラストシートに合わせて針ローラーを  
●イラストあみ・あみはじめ まで出し、  
キャリジを右から左へ動かしてあみます。



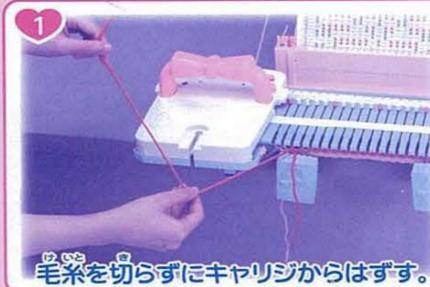
- 7 キャリジが左はしまできたら、●の毛糸をキャリジ  
からはずし、●の毛糸にとりかえます。毛糸が  
あみ地のところで交差しないように注意しましょう。



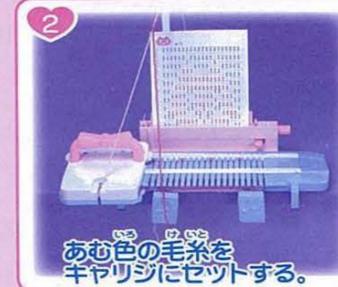
毛糸をとりかえたら、  
テンションの向こうがわの  
毛糸のたるみをひっぱる。

- 8 イラストあみの毛糸のとりかえ方 ● → ● 赤から青にかえるとき

※毛糸をとりかえる時は必ずキャリジが左がわにあることを確認してください。※順番が違うと毛糸が交差してしまうので注意してください。



毛糸を切らずにキャリジからはずす。



あむ色の毛糸を  
キャリジにセットする。



やすむ色の毛糸を糸やすめにかける。

● → ● 青から赤にかえるとき

- 1 糸やすめから  
●赤の毛糸をはずす。

- 2 ●青の毛糸を  
糸やすめにかける。

- 3 ●赤の毛糸を  
キャリジにセットする。

イラストあみをします③

キャリジ切りかえつまみ: ♡→★

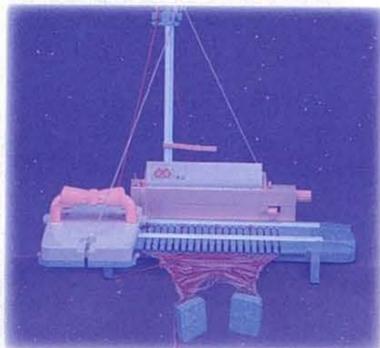


9

イラストシートの最後の段まで④から⑧をくりかえします。

10

イラストをあみおわりました。  
※あみ地のうらが見えます。



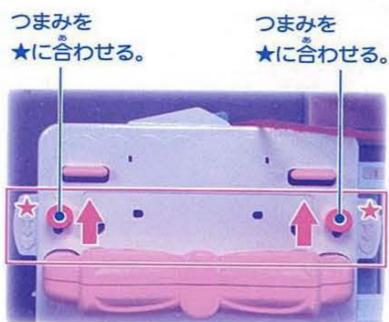
11

イラストシートの最後の段まであみ終わったら、シートストップレバーをとまるにきりかえます。



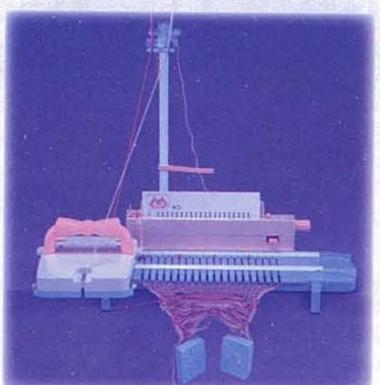
12

キャリジ切りかえつまみを★:ひらあみに切りかえます。



13

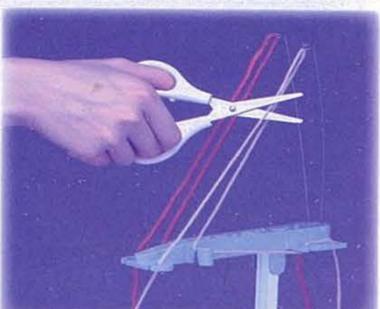
●の毛糸にとりかえて、6段以上ひらあみをします。



あみおわりのしまつのしかた

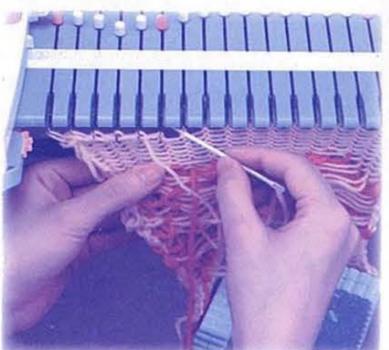
14

●の毛糸を70cm以上残して切ります。  
●の毛糸は30cmで切ります。



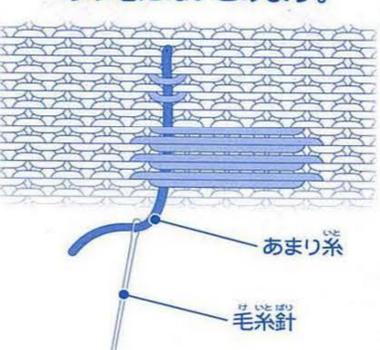
15

●の毛糸は10ページの“あみ目のおわりのしまつ”をします。



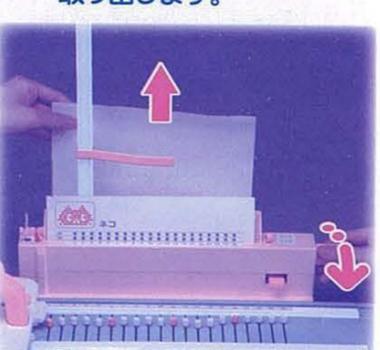
16

●の毛糸は表に見えないようにあみ地にぬいこみます。



17

シート送りダイヤルをまわしてイラストシートを取り出します。



18 うらの毛糸が気になる時は…



※イラストによっては、穴が自立することがあります。

19 イラストあみの穴が気になる時は…



しましまマフラーのつくりかた



●マフラーの本体部分をつくります。

- ★:ひらあみでつくります。
- 水色、むらさきを20段ずつあみします。  
(色のかえかたは、9ページ“毛糸がなくなりそうになったら”を見てください。)

●両はじにフリンジをつけます。

- あまった毛糸を15cmに切ったものを、30本用意します。
- 3本ずつまとめて2つに折り、バランスを見ながらマフラーのはじにとりつけます。

フリンジのつけたかた

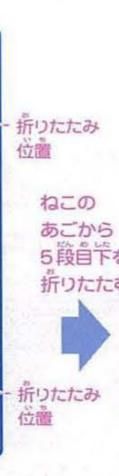


ねこポーチのつくりかた



●ポーチの本体部分をつくります。  
(地色…水色、ねこ…水玉…むらさき)

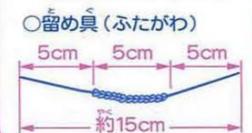
- ひらあみにセットし、水色で24段あみします。
- イラストあみにセットして、水玉もようを01~24段と01~10段まであみします。
- ひらあみにセットして、水色で40段あみします。
- イラストあみにセットしてねこもようをあみします。
- ひらあみにセットして水色で49段あみします。
- あみ地をアミーナ本体からはずして、図1.2.3の手順でポシェットをつくります。



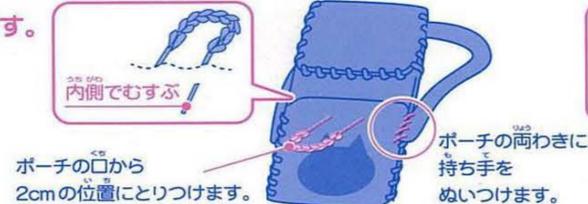
●ポーチの持ち手を1本つくります。  
(むらさき)

- ひらあみにセットし、7本の針を使い83段あみします。

●ポーチの留め具のパーツを1組つくります。  
(むらさき)



●ポーチを組み立てます。

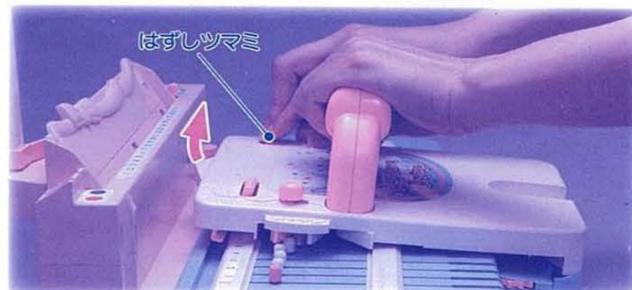


こんなときは…

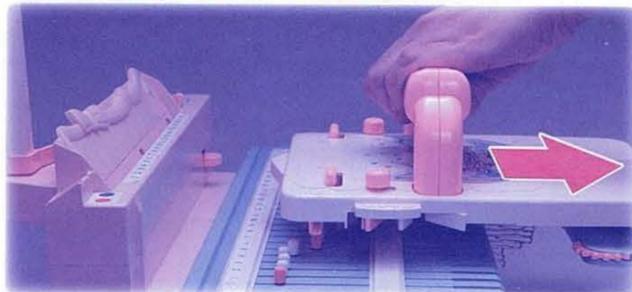
● キャリジが動かなくなるとき…



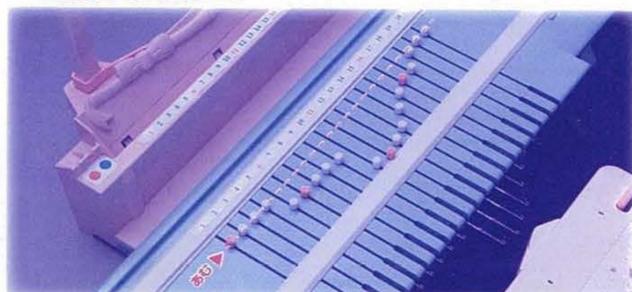
1 キャリジのはずしツマミを手前に引き、キャリジのうしろをすこし持ち上げます。



2 キャリジがうしろレールからはずれたことを確認してください。



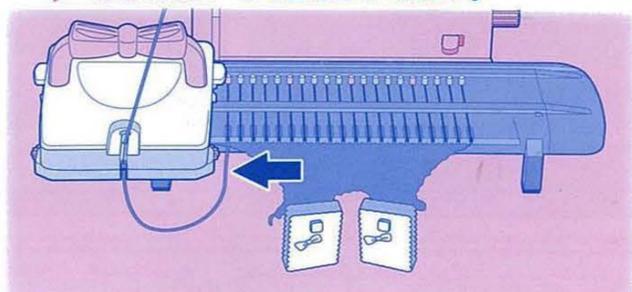
3 そのままキャリジをゆっくりと手前にずらします。  
※むりにひっぱると針がまがったり折れたりしますので注意してください。



4 キャリジをはずした時に、針はこうになっています。  
▶ あむ に針ローラを合わせてください。



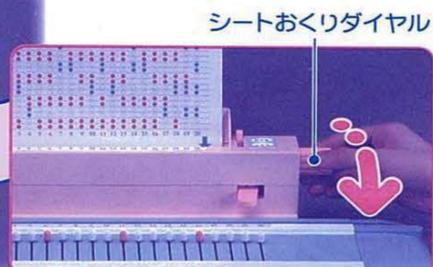
5 キャリジを左にセットします。



6 右ページの“あみ目をほどこきたいとき”のように、あんでいる毛糸が左はしにくるまであみ目をほどこきます。



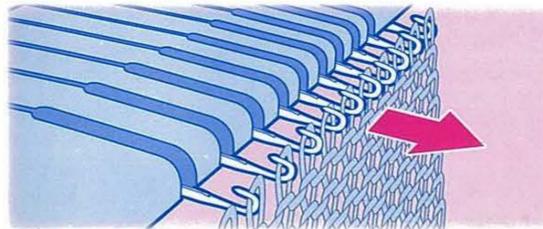
7 テンションのむこうがわの毛糸をひっぱり、たるまないようにしてあみはじめてください。



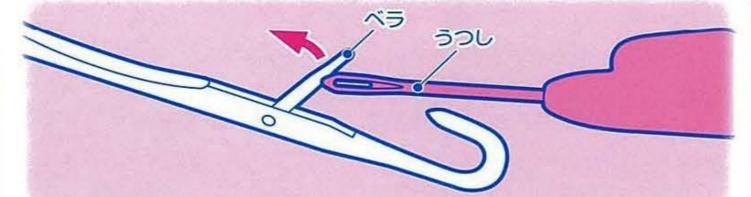
※イラストあみのときは、あみ目をほどこいた段までダイヤルをまわしてイラストシートをもどしてください。

こんなときは…

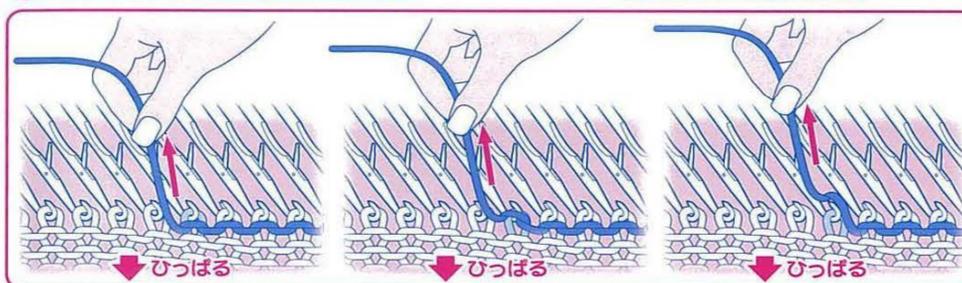
● あみ目をほどこきたいとき…



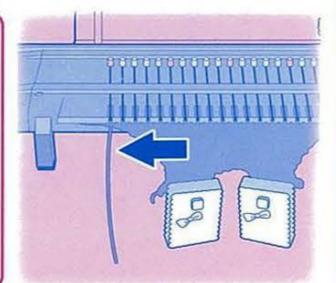
1 針を本体よりすこし前に出します。



2 ベラがおりてフックが閉じていたら、うつしを使ってベラを上げて、針のフックを開きます。



3 あみ地を下にひっぱりながら、一段下のあみ目がフックに引っかかるように、あんでいる毛糸をフックの上に向かってひきます。※1目ずつゆっくりやってください。



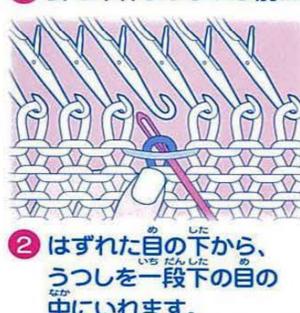
4 あんでいる毛糸があみ地の左はしにくるまでくりかえします。

5 針ローラを ▶ あむ にもどします。

● あみ目が針からはずれたとき…



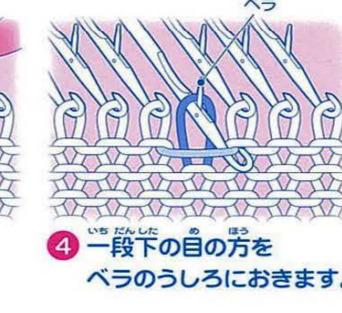
1 針を本体よりすこし前に出します。



2 はずれた目の下から、うつしを一段下の目の中にいれます。  
※あみ地をひっぱると、どんどん下にほどこていきますが、ほどこけないように一段下の目の根元をしっかりとおさえてください。



3 そのまもうつしの穴を針のフックにかけて、2本の毛糸を針にうつします。



4 一段下の目の方をベラのうしろにおきます。



5 針ローラを ▶ あむ に引くとその目があめて、もとどおりになります。